

おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田3-5-7

(TEL) 0555-22-3199

(FAX) 0555-25-7002

2023年7月第491号 ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/index.html>

「種をまく人」のたとえ話

マリア アグネス 江守 香代子

高校時代の同級生たちが、担任だったシスターと聖書の会を東京で開催していたのは知っていましたが、コロナ禍にあってリモート開催となったことから、仲間に加えていただくことにしました。(現在24名が加入)

とある月「種をまく人のたとえ話」(マタイ13章、マルコ4章、ルカ8章)が取り上げられました。「自分の人生の中で蒔かれたみ言葉の種は、成長を遂げたのか?」「日々の雑事にかまけ、誘惑に負けたほうか」などなど、分かち合いがなされました。

会が終わった後「さて私にとって、初めてみ言葉の種が蒔かれたのはいつだったか?」と素朴な疑問が湧きました。最初は、このミッションスクールに通い始めた10歳の頃と思っていたのですが、もっと古い記憶が蘇りました。

それは幼稚園か小学校に通い始めた頃、父に時折連れられて行った日本基督教団の教会でした。♪ザアカイ、ザアカイ、降りなさい♪という讃美歌や、イエス様の絵が描かれた聖書のカード、食パンを四角く切ったようなご聖体や、配られた小さなワイングラスなどが蘇ります。父は諸事情があり、キリスト教の洗礼を受けることはありませんでしたが、66歳で亡くなった父の遺品を整理していると、「昭和28年10月30日」と、父が20歳の頃の日付と署名が入った「聖書テキスト」(H.H.ハーレイ原著 聖書図書刊行会編)が出てきた時には、大泣きいたしました。

父がきっかけを作ってくれたみ言葉の種は、時には誘惑や思い煩いのいばらにふさがれたり、道端に落ちて枯れてしまったかのような時もありました。けれども忍耐強い神様の力はとても強くて、今もなお日々自分を支えてくれていることへの感謝は尽きません。

聖書の会に参加する同級生たちのほとんどが信者ではありません。けれども人生の後半に入り、聖書や祈りの中に、日常の困難なこと、辛いことを生き抜く道を見出そうとしている友たちの姿に、宗教教育の価値の一端に触れたように思う今日この頃です。

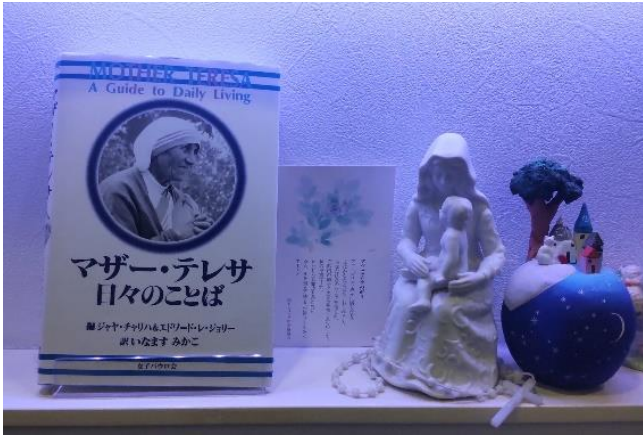
「聞く耳のあるものは聞きなさい」と言われたイエス様の言葉を信じて、私も心に蒔かれた小さな種を、豊かな水、太陽の恵みをたくさん受けて、良い地に耕していきたいものです。



私のホーリー・コーナー

セシリア小林恵美子

皆さまのご自宅には、家庭祭壇はありますか？祭壇とまではいきませんが、私は東京の自宅の廊下のニッチ(壁のくぼみ)にお気に入りをお並びに、そこに聖母子像とロザリオ、そしてマザー・テレサの本を置いています。



子どもが小さい頃、夫は仕事で忙しく家庭で親子三人一緒に過ごす時間はあまり持てませんでした。私も仕事をしていましたので「ワンオペ育児」にイライラとして、つい息子にきつく当たってしまったことも少なくありません。自分自身にがっかりしてニッチのマリア像をながめると、「大丈夫、神様が一緒に育ててくださっていますよ」と声が聞えるような気がして慰められる思いがしたものです。

聖母子像に預けるように置いているロザリオには蓄光剤が施してあって、電気を消すと青白く光るのですが、隣の林檎の形をした水笛に描かれた月と星との組み合わせも、とても気に入っています。このロザリオは、夫が子どもの頃に、義母から与えられたもののようです。

そして、夫の伯母から私の洗礼の記念に贈られた「マザー・テレサ 日々のことば」は、ふとしたときに手にとり、その日のマザーの言葉を読むようにしています。不思議とそのときの気持ちにぴったりと寄り添ってくれたり、考えを深めてくれたりする言葉に出会えます。夫も息子も誕生後すぐの幼児洗礼でしたが、私は息子に遅れること5年後に受洗しました。伯母は、その日の来るのはいつだろうかと、この本を用意して静かに待っていてくれたそうです。その気持ちをととてもありがたく感じながらページをめくっていくと、私の誕生日の12月15日には、伯母が色鉛筆でイラストを描き、「お誕生日おめでとう」「神様のお恵みがありますように」と英語で書き込んでくれていました。



私はコロナの流行と共に河口湖で生活するようになりましたので、このホーリー・コーナーとはしばらくご無沙汰していましたが、先日、東京の家に帰りニッチの前で少しゆっくりできました。このコーナーに助けられた日々が懐かしく感じられるほどに、気付くと息子も大学4年生です。今度は、今の私にふさわしいホーリー・コーナーを、河口湖に作りたいと思っています。

信徒の集い 記録

2023 年 6 月 11 日(日)出席者 14 名

1. 「教会委員会」⇒「信徒の集い」・「教会委員会準備委員会」⇒「教会委員会」と名称変更します。及び教会準備委員会のメンバーを増員します。司祭・教会委員長・副委員長(3 人)・典礼・財務・営繕・日曜学校・婦人部
2. 70 周年記念について記念誌を作成する。リーダー佐藤光良(スタッフ 2～3 名募集)
記念パーティーを「感謝と喜びの集い」と一緒に行う。
司教様の参加は前年に頼まないと間に合わないので今年は参加して頂けない。
3. 7 月の予定は「こよみ」をご覧ください。
4. 8 月の信徒の集いはお休みです。
5. 6/25 張神父様の司式ミサの後茶話会を行いたいと思います。婦人部のお手伝いをお願い致します。
6. おとずれ 500 号記念号を作りたいと思います。(2024 年 4 月)栗原今朝雄・小山田匡宏・小林恵美子を中心に作っていきたいと思います。
7. 聖歌練習チームのグループ LINE を作ります。
8. 財務会計システム(今迄手書きだった教区提出用 OCR データをパソコン入力で印刷できるようにする)を小山田さんが作ってくださっている。(8 割がた出来ている)
9. 令和 5 年感謝と喜びの集いと 70 周年記念パーティー第一回実行委員会を8月中に行う。(7 月の信徒の集い迄に決める)実行委員 江守・新井・角他
10. 「子供とささげるミサ」を毎月から各節目(始業式・終業式・初聖体など)にやる。
11. 一粒会大会(横浜)去年は参加していない。今年は 10/9(月)祝日鎌倉清泉小学校(500 名募集)山梨地区バスチャーター予定。7 月までに参加者を募る。(宮本)
12. 燕は現在いないので、巣を作らないように対策を考える。棚は取る。(塗装工事が入る為)
13. 倉庫設置を教会入口右側と別に外の水道の所へ置きたい(普段使っている入れたい物を検討(新井迄ご意見をお聞かせください。))したい
14. ステンドグラス在庫処分は 70 周年委員会のほうで考える。(カットして記念品とするかバザーで売る。)聖堂入口ドアの音が酷いので佐藤さんが修理して下さいます。(7/24～29)

こ よ み

7月

日付	教会暦	行事内容等	日曜 学校	聖堂清掃/備考
7/2(日)	年間第13主日		○	河口湖・吉田
7/9(日)	年間第14 主日	信徒の集い	○	インターナショナル・山中・忍野
7/16(日)	年間第15 主日	日曜学校終業式 山梨地区宣教司牧委員会 (富士吉田教会)	○	日曜学校
7/18(火)		鎌倉 由比ガ浜教会巡礼団 11:20~12:10 ミサ・記念写真撮影		
7/23(日)	年間第16 主日	教会墓地清掃	×	河口湖・都留
7/30(日)	年間第17 主日	ミサ司式渡辺裕成司祭	×	有志

※御ミサは毎週日曜 9:30 開始です。変更ある場合のみ表に記載します。

＊ 7/24(月)～29(土) 外部改修塗装工事

＊ 聖歌の練習は 7/9・16・23・30(9 時～)

イタリア語教室(月曜10時):7月 3 日、10 日、24 日

8月の主な予定

信徒の集いはありません

8/6 大掃除(床ワックス掛け)

8/15 聖母の被昇天 (8月13日年間第19主日のミサの中で

朗読と祈願文を聖母の被昇天のものをいたします。)

※その他予定変更については、「教会の連絡網」での連絡及び

ホームページに掲載いたします

7月のミサ奉仕

日	先唱	聖体奉仕	第1朗読	第2朗読	検温	香部屋
2	大野 隆		長澤 泰	長澤 徳子	角 幸子	
9	曾根美香		中田 一雄	葉山 恵	小林恵美子	
16	佐藤 光良		和田 一郎	宮下未輝	曾根美香	
23	東海林義夫		葉山 孝夫	グエン ティ カ	江守香代子	
30	江守香代子		福永 好雄	相沢千代子	宮本 禮子	